

## (仮称) 青森市しごと創造戦略 中間整理について

### 1 中間整理の考え方

- (1) 令和5年8月29日に第1回目の会議を開催して以降、3回開催
- (2) 会議では、本市経済の強みや弱みを踏まえた今後取り組むべき重点分野としてDX、GX、観光、マーケティングの4分野が示され、さらに議論を深めるために、まずは、観光分野とマーケティング分野の専門家を招聘
- (3) 令和6年秋頃を目途に市が策定予定の「(仮称) 青森市しごと創造戦略」に向け、本会議の議論が折り返し地点にあることから、前回会議の座長意見（これまでの意見を一度整理し、次回はそれを踏まえた会議としていただきたい。）も踏まえ、現時点における産学官での取組の方向性を中間整理として取りまとめ
- (4) 今後は、中間整理を検討の土台とし、委員等の皆様から意見聴取
- (5) 今後の会議の予定
  - ・ 令和6年春頃 第5回会議（GX分野、DX分野の専門家による講演）
  - ・ 令和6年夏頃 第6回会議（(仮称) 青森市しごと創造戦略について）

### 2 中間整理の体系

- 「地域産業の再生」、「地域経済循環を高める連携強化」、「成長産業分野への参入促進」、「市民所得の向上に繋がる雇用」の4つを主な視点として検討を進め、委員や専門家、オブザーバーの皆様からいただいた意見等を関連する内容ごとにまとめた結果、「共創の方向性（13項目）」とそれらを束ねる「戦略の柱（5項目）」の体系として整理

戦略の柱		共創の方向性	
1	生産性向上関連	①	DX・デジタル化の推進
		②	付加価値・ブランド力の向上
		③	事業継続支援
2	地域経済循環関連	①	物流・ECを活用した販売力強化
		②	地域内取引の推進
3	新産業振興関連	①	起業・創業支援
		②	GX関連産業等への参入推進
		③	成長分野等の企業誘致
4	観光振興関連	①	立体観光推進・受入態勢充実
		②	地域資源を活かした観光の推進
5	人づくり関連	①	スキル習得支援・意識醸成
		②	若者等の地元定着推進
		③	多様な働き方・人材活躍の推進
—	総論	①	特徴的取組（尖った取組）
		②	全般

※「戦略の柱」と「共創の方向性」の名称は、今後の意見を踏まえ修正予定  
 ※特徴的取組（尖った取組）については、今後の会議の場などでの意見を踏まえ検討